



2017年7月31日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

韓国／現代製鉄 唐津製鉄所 第3高炉向け ステープクーラーの受注について

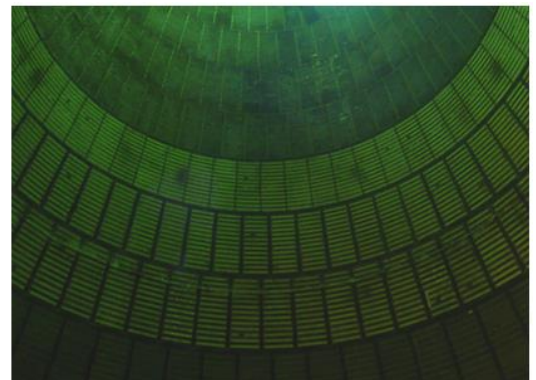
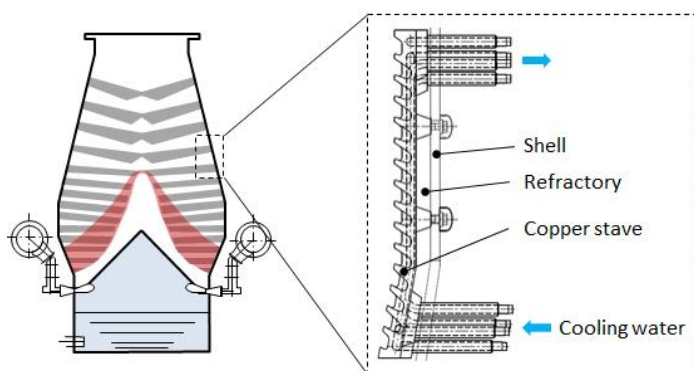
新日鉄住金エンジニアリング株式会社(代表取締役社長:藤原 真一、以下、当社)は、大韓民国／現代製鉄が唐津製鉄所 第3高炉(2013年9月火入れ)にて取り替えを予定している計120枚のステープクーラー※1を受注致しました。これは独自に開発した鋼管鑄込み銅ステープの高い耐摩耗性に加え、鑄造の特徴である形状設計の自由度を活かした炉内プロフィール改善提案等、当社技術が高く評価され、受注に至ったものです。

当社は40年にわたる鑄鉄ステープの設計・製造ノウハウを活かし「鋼管鑄込み銅ステープ」を開発し、2004年以降に実機導入を進めてきました。当社製「鋼管鑄込み銅ステープ」は、「鑄込み製法」の特徴を生かし、ステープに求められる性能(長寿命、低抜熱)全てにおいて、従来型銅ステープに比べて大きく改善し、高炉の長寿命化・省エネ化に貢献することができます。

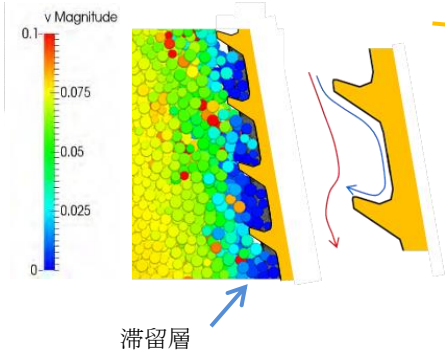
- 1) 独自の上向きリブ構造により、摩耗に起因する原料接触力、降下速度を低下させ高い耐摩耗性(長寿命)を実現します。
- 2) 銅より剛性の高い鋼管が骨組みの役割を果たし、かつ当該鋼管をガスシール金物によって直接鉄皮に固定し、ステープ上下端部の変位を拘束することができるため高い耐熱変形性(長寿命)を実現します。
- 3) 従来ステープでは必須の栓溶接や配管溶接が不要となり、溶接部破損リスクの完全な排除(長寿命)を可能にします。

当社は今後とも鋼管鑄込み銅ステープの拡販を通じ、各社の高炉長寿命化・省エネ化に貢献していく所存です。

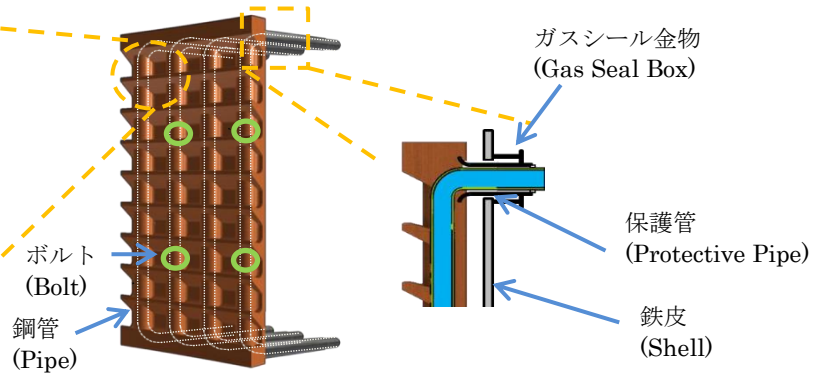
※1 ステープクーラー:鉄鉱石から溶けた鉄を取り出す製鉄の主要プロセスである高炉の炉内に設置され、炉内形状維持及び炉内の高温ガスや溶融物から炉体(鉄皮)を保護するための設備。



■DEM 解析による原料降下挙動シミュレーション



■ガスシール金物によるステーブ上下端部の拘束



【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/>

以上